

# Acrobat HD™

---

アクロバット HD



取扱い説明書

# 目次

各部の名称 .....	3
設置 .....	5
カメラ位置の調節 .....	6
カメラヘッドの使い方 .....	7
使い方 .....	8
倍率の調節 .....	8
モードを変える .....	9
明るさ調節 .....	12
白バランスの調節 .....	13
ラインマーカー・マスキング .....	15
左利きモード .....	17
対象位置表示装置（FIND）の使用法 .....	18
焦点固定 .....	19
フリーズ機能を使う .....	21
読書と筆記の仕方 .....	22
電源周波数の設定 .....	24
仕様 .....	25
保障について .....	26
故障かなと思ったら .....	27

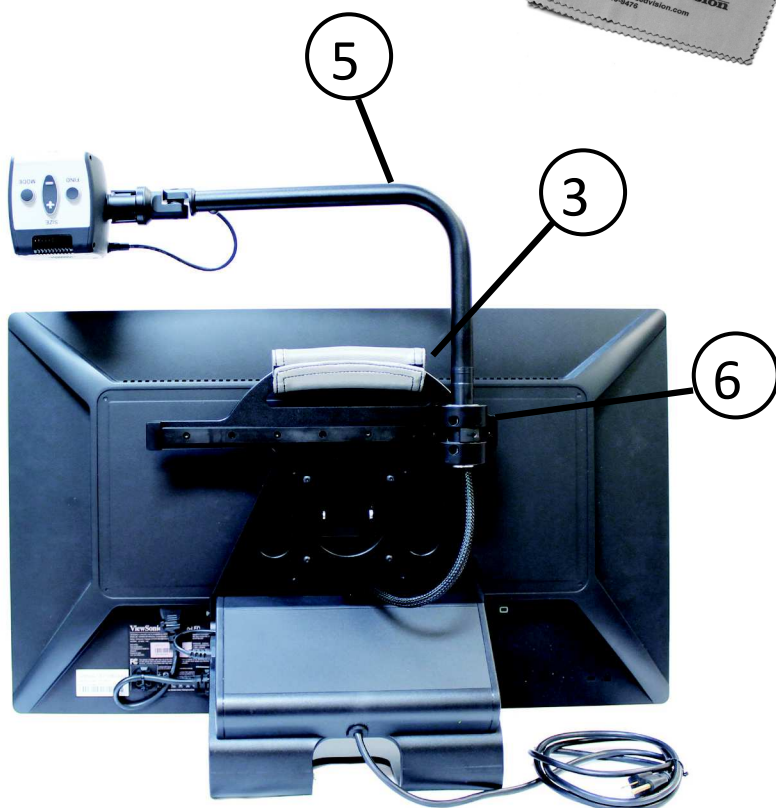
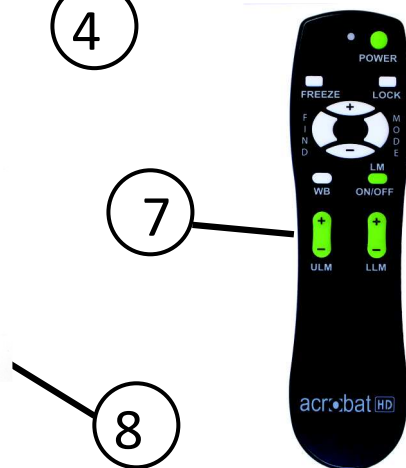
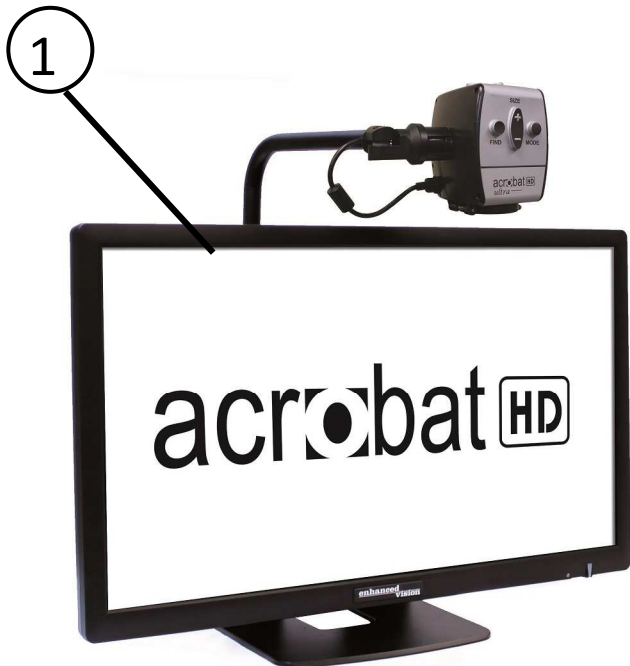
アクロバット HD は各部の名称と機能から成り立っています。

1. 22 型 LCD モニター：高品質画像
2. カメラ：340 度回転。画像を捉え拡大します
3. 持ち運び用ハンドル：本体を持ち上げる時に使用します
4. ズームレンズ：近距離時に使用します（読書・鏡モード）
5. アーム：カメラを支える回転アーム
6. ロック：アームの横スライドをロックします

含まれている付属品：

7. リモコン：（電池付き）：離れてアクロバット HD が操作できます
8. レンズ用のクロス：液晶ディスプレイ用

# 各部の名称



## 1. アクロバット HD の開梱と輸送

開梱と輸送中は、備え付けの手提げでアクロバット HD を持ち上げます。モニターだけを持ち上げようとしないでください。（図 1 参照）

## 2. アクロバット HD の設定

アクロバット HD をテーブル又は机のような平坦で水平な表面の上に置きます。

## 3. 電源につなぐ

付属の電源コードを 空いた壁コンセントに差し込む。（図 2 参照）

## 4. 電源を入れる

アクロバット HD 後面右側のスイッチを「0」から「I」に入れる。（図 3 参照） 数秒のうちに LCD スクリーンとアクロバットカメラは自動的に作動します。カメラが向いている物の画像が LCD スクリーンに映し出されます。

同じスイッチを「0」のポジションに戻して電源をオフにします。

スイッチを「I」にした状態で、リモコンの POWER ボタンを押すと、アクロバット HD の画面をオン/オフすることができます。



図 1



図 2



図 3

# カメラ位置の調節

## カメラ位置の調節

アクロバットカメラは、アームを左右にスライドさせたり、どんな方向にも旋回することができます。(図 1, 2, 3, 4を参照)



図 1



図 2

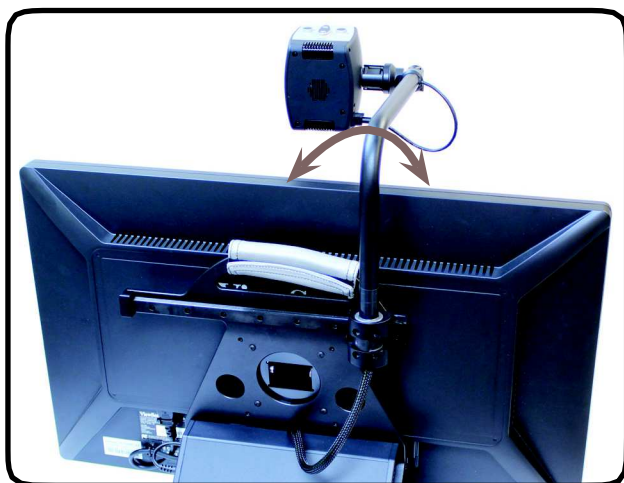


図 3

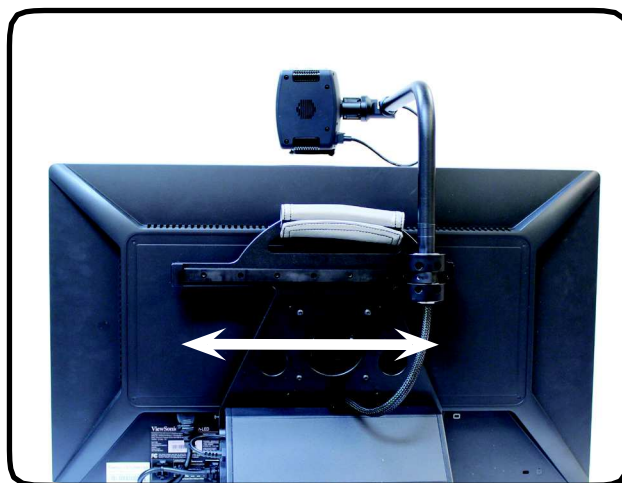


図 4



## 使い方のコツ

アクロバットHD はカメラを回すことで、3通りの使い方があります。

**読書 (Reading)** : アクロバットカメラは、本体に繋がっているフレームを左右にスライドすることで見ることができます。また、本自体を動かすことで読むことができます。(図1参照)

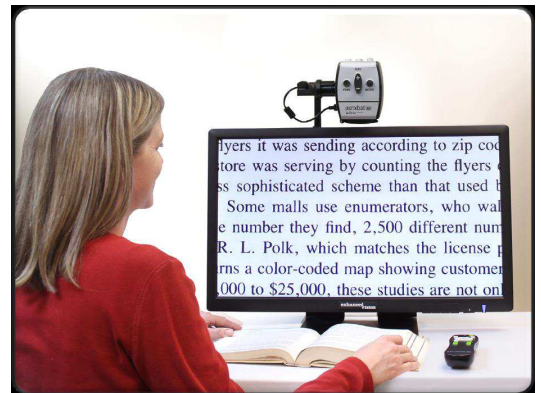


図 1

**距離 (Distance)** : カメラを前方に向けることで、ユーザーが遠くの物を見ることができます(図2参照)

遠くを見る場合には、カメラに付いているレンズを外してお使い下さい。

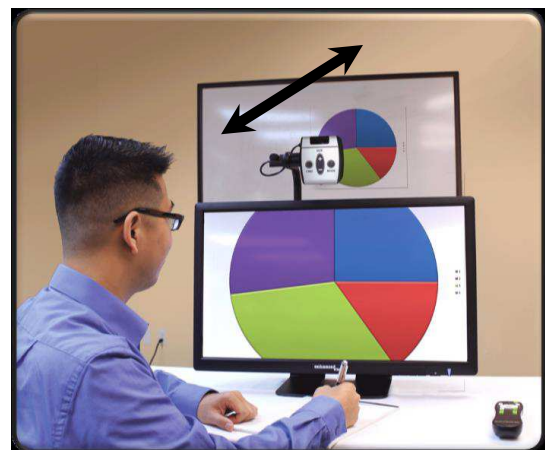


図 2

**自己視 (self-viewing)** : このモードはユーザーが自分自身を見るために自分にカメラを向けて見ることを可能にします。(図3参照)

この場合には、倍率が最大 30 倍までとなっています。

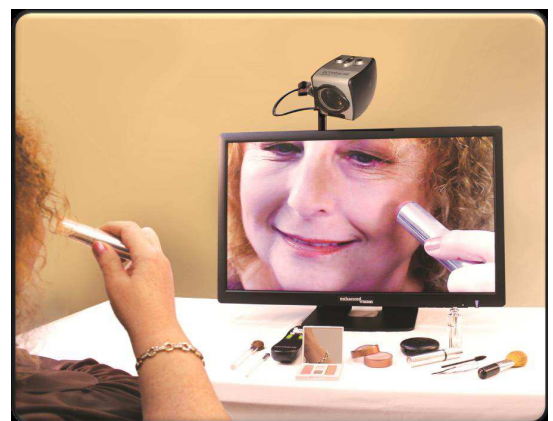


図 3

# 使い方

## 倍率の調節

アクロバットは大きな倍率への拡大が可能です。以下の手順に従ってリモコン又はカメラから操作してください。(図 1& 2 参照).

1. リモコンまたはカメラの「+」か「-」ボタンをちょうどいい倍率になるよう押し続けて調節します。
2. 倍率を拡大していく時「KAKUDAI」という表示が画面左上隅に現れます。最大の倍率になったとき「SAI-KAKUDAI」という表示が現れます。倍率を下げていくと「SYUKUSHO」の表示が画面左上隅に現れ、最小の倍率になったときに「SAI- SYUKUSHO」と表示されます。

注：拡大の限界はカメラと対象との距離によります。

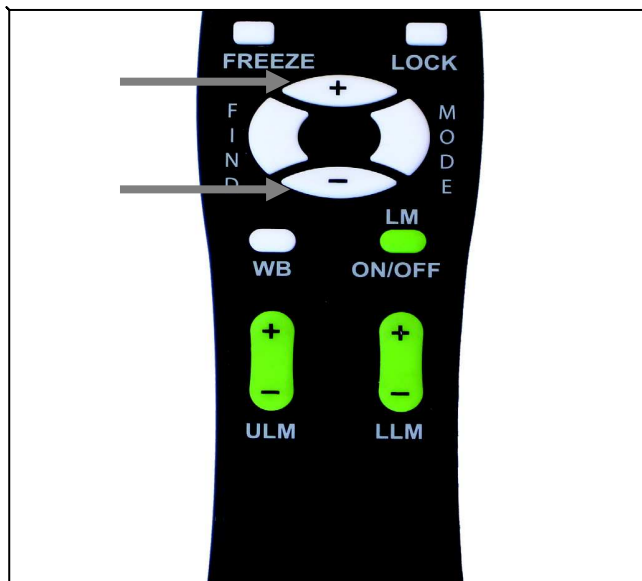


図 1



図 2



## モードを変える

アクロバットは特定の視覚事情を持った人々に、文字と背景両方の色の組み合わせがいくつか選べることで、最適な視覚を用意できるように設計されています。加えて、それぞれの視覚のためにモードが選択できます。リモコンまたはカメラを使って以下の手順で操作できます。

## モードを調節

1. リモコンまたはカメラのモードボタンを押してモードを選択します。(図1 & 2 参照).
2. ボタンを押すごとに7つのモードを循環します。(次頁参照).

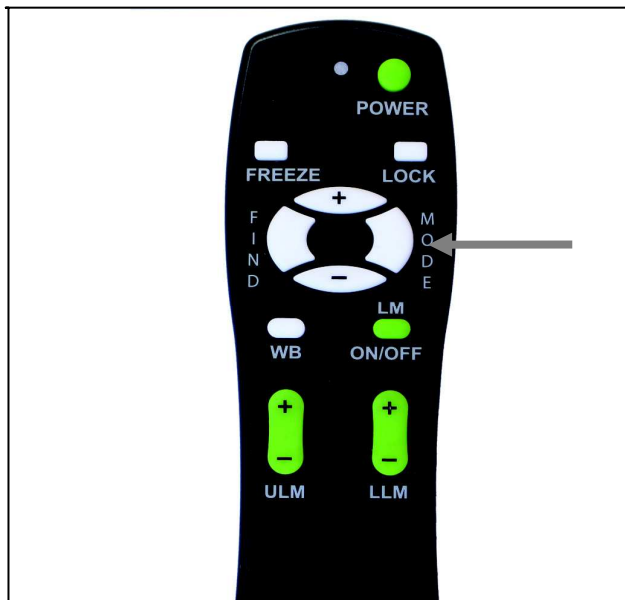


図 1



図 2

# 使い方

## 表示モード

### フルカラーモード (TSUJO SHOKU)

拡大された画像のフルカラー表示。

### 白黒モード (SHIRO KURO)

拡大された画像の白黒表示。

### 白黒強化モード (POSI KYOCHO)

白地に黒文字モード。

コントラストが強くくっきりとした文字で読みやすい。

### 白黒反転モード (NEGA KYOCHO)

黒地に白文字モード。

コントラストが強くくっきりとした文字で読みやすい。

### カラーモード 1 (IRO SENTAKU 1)

青地に黄文字モード。

### カラーモード 2 (IRO SENTAKU 2)

黒地に緑文字モード。

### カラーモード 3 (IRO SENTAKU 3)

黒地に黄文字モード

### カラーモード 4 (IRO SENTAKU 4)

初期状態ではオフに設定されています。設定する場合は P11 を参照ください。

### カラーモード 5 (IRO SENTAKU 5)

初期状態ではオフに設定されています。設定する場合は P11 を参照ください。

くっきり、  
はっきり  
文字画像！

白黒強化画像

くっきり、  
はっきり  
文字画像！

白黒反転画像

## カラーモードの変更

アクロバットは 28 色の選択可能な色モードから、5 つまでのお気に入りを選び、使用することができます。（P10 のカラー選択 1 から 5 までが変更できます）

1. モードボタンを 3 秒間押し続けて メニューを開きます。  
メニューに入ると、画面に “NYURYOKU MODE” と表示されます。
2. 「+」 ボタンを押してスクロールし、“6. IRO SENTAKU” を選び、モードボタンを押してください。
2. 「+」 や 「-」 ボタンで、IRO SENTAKU 1、2、3、4、5 の中から変更するモードを選び、モードボタンを押してください。
4. 選択したカラーモードを、「+」 や 「-」 ボタンを押して “ON” や “OFF” に設定することができます。カラーモードを変更する場合は、“ON” を選び、モードボタンを押してください。
5. 「+」 や 「-」 ボタンを押して、28 色のカラーから好みの色を選び、モードボタンを押して保存してください。

# 使い方

## 明るさ調節（フルカラーモード）

フルカラーモードの時、モニターの明るさを調節することができます。

1. モードボタンを3秒間押し続けてメニューを開きます。  
メニューに入ると、画面に“NYURYOKU MODE”と表示されます。
2. 「+」ボタンを押してスクロールし、“4. AKARUSA TSUJO SHO”を選び、モードボタンを押してください。
3. 「+」や「-」ボタンで画面の明るさを調節してください。
4. お好みの明るさに調節したら、モードボタンを押して保存してください。

## 明るさの調節（カラーモード）

カラー選択1-5のモードの時、モニターの明るさを調節することができます。

1. モードボタンを3秒間押し続けてメニューを開きます。
2. 「+」ボタンを押してスクロールし、“5. AKARUSA IRO SENTA”を選び、モードボタンを押してください。
3. 「+」や「-」ボタンで画面の明るさを調節してください。
4. お好みの明るさに調節したら、モードボタンを押して保存してください。

## 白バランスの調節

### リモコンを使って白バランスの調節（フルカラーモード）

白色は室内照明の影響を受けやすいのでアクロバットの白バランス調節が最適な明確さをお届けします。

白バランス調節は以下の指示に従ってください。

1. リモコンの白バランス「WB」ボタン（図1参照）を押すと2秒ほどで起動します。
2. 1の動作を繰り返し以下の4つの設定をします。
  - a. 「IC JIDO」 室内照明にあわせて自動調節します。
  - b. 「IC DAN-SHOKU」 暖色に調節します。
  - c. 「IC TSUJO-SHOKU」 バランスのとれた色合いに調節します。
  - d. 「IC KAN-SHOKU」 寒色に調節します。



図1

図1

# 使い方

## カメラを使って白バランス調節

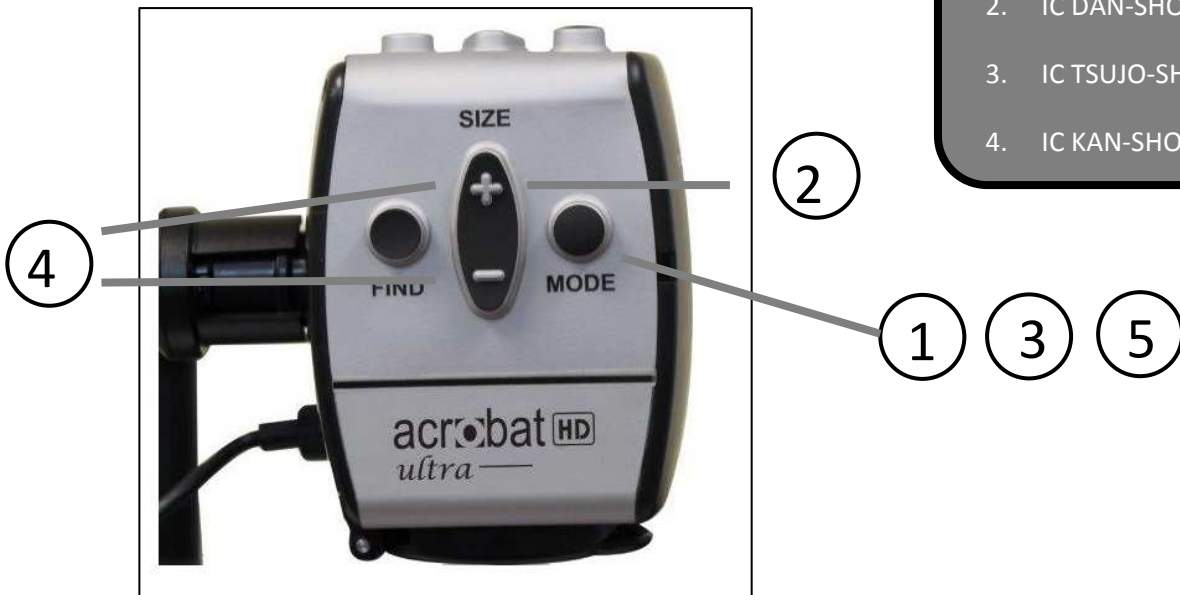
カメラでの白バランスの調節は以下のように行ってください。

1. モードボタンを3秒間押し続けてメニューを開きます。
2. 「+」のボタンを押してスクロールし “2. IRO CHOSEI” を選択します。
3. モードボタンを押して白バランス機能を開始します。
4. 「 +/- 」のボタンを押して4つの設定を行います。
5. モードボタンを押してこの機能を終了します。

NYURYOKU MODE

2. IRO CHOSEI

1. IC JIDO
2. IC DAN-SHOKU
3. IC TSUJO-SHOKU
4. IC KAN-SHOKU





## ラインマーカー・マスキング

### リモコンでラインマーカー・マスキングを使用

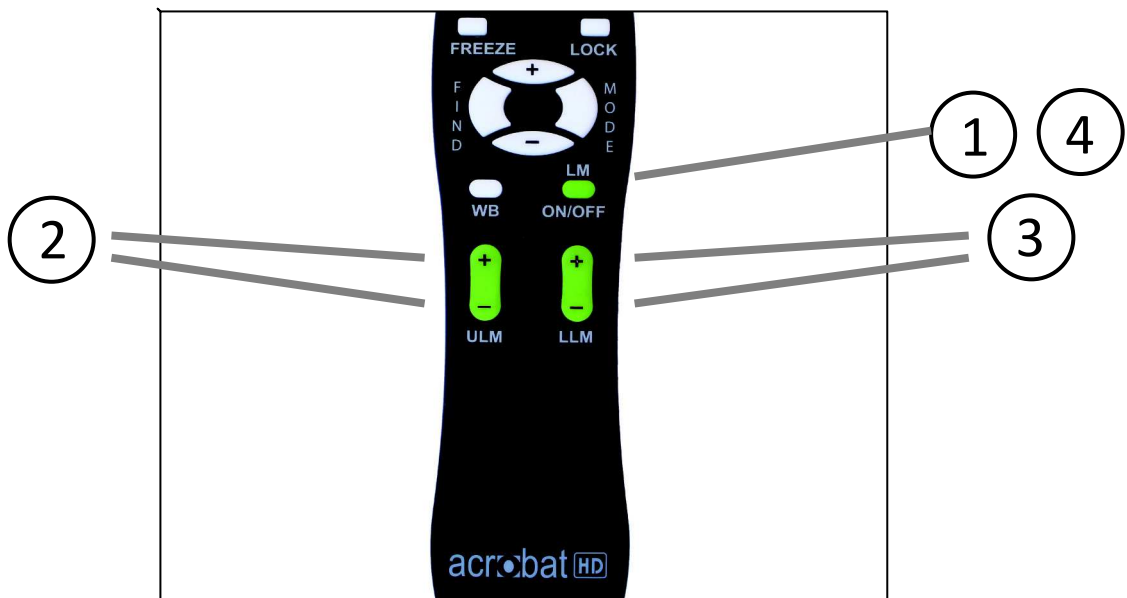
2本の縦線・横線を表示したり、覆い隠したりすることで読書や筆記を補助します。

リモコンでラインマーカーは以下のようにして表示/非表示します。

1. “LM ON/OFF” ボタンを一秒程押してラインマーカーを起動します。

“LM ON/OFF” ボタンを押すと、ラインマーカー（横線）、ラインマーカー（縦線）、マスキング（横線）、マスキング（縦線）の順に表示されます。それぞれの切り換えは、“LM ON/OFF” ボタンを一秒程押して変更して下さい。

2. 上のラインマーカー・マスキングを動かすときは“ULM+/-” ボタンを押します。
3. 下のラインマーカー・マスキングを動かすときは“LLM+/-” ボタンを押します。
4. “LM ON/OFF” ボタンを一秒程押して非表示にします。



# 使い方

## カメラでラインマーカを使用

以下の指示に従ってカメラからラインマーカを選択してください。

1. モードボタンを最低 3 秒は押し続けて “NYURYOKU MODE” メニューを開始します。
2. メニューは自動的に “1. RAIN UMU” を表示します。
3. 「モード」ボタンを押します。
4. メニューは “1. RAIN NASHI” を表示します。
5. 「-」ボタンを押してラインマーカを起動します。画面は “2. RAIN ARI” を表示します。
6. 「モード」ボタンを押すとメニューは “1. UE RAIN CHOSEI” を表示します。
7. 「+/-」ボタンを押して上のラインマーカを上げたり下げたりします。
8. モードボタンを押して上のラインマーカを設定します。
9. メニューは “2. SHITA RAIN CHOSEI” を表示します。
10. 「+/-」ボタンを押して下のラインマーカを上げたり下げたりさせます。
11. モードボタンを押して下のラインマーカを設定します。
12. 1 から 4 を繰り返してラインマーカを削除します。
13. 「+」ボタンを押して “1. RAIN NASHI” メニューに戻ります。
14. モードボタンを押してメニューを終了します。

1. RAIN UMU

1. RAIN NASHI  
or  
2. RAIN ARI

1. UE RAIN CHOSEI  
or  
2. SHITA RAIN CHOSEI



図 1

## 左利きモードで使う

左手で使用する場合は下記操作で設定してください。

1. モードボタンを3秒以上長押しして、“NYURYOKU MODE”メニューに入ります。
2. +ボタンでスクロールし、“3. HIDARI-KIKI”を表示します。
3. モードボタンを押します。
4. “1. HIDARI-KIKI OFF” が表示されます。
5. +ボタンを押して、“2. HIDARI-KIKI ON.”を表示させます。
6. モードボタンを押して、左利きモードのオン/オフを設定します。

# 使い方

## 対象位置表示装置 (FIND) の使用法

アクロバット対象位置表示機能はあなたがページ上で探しているものの位置やもっと詳しく見たい対象の特定部分をすばやく見つける手助けをします。

以下の手順に従ってリモコンやカメラで探している対象の位置を見つけることができます。

1. リモコンの「FIND」ボタン(図1参照)またはカメラ(図2参照)の「FIND」ボタンを押し続けます。アクロバットが自動的に最大画像(等倍)にズームアウトし「ターゲット」(図3参照)が画面の中心に現れます。
2. あなたが作業している物、または読んでいるものを「ターゲット」の場所まで移動させます。
3. 「FIND」ボタンを離すと「ターゲット」周辺が拡大されます。

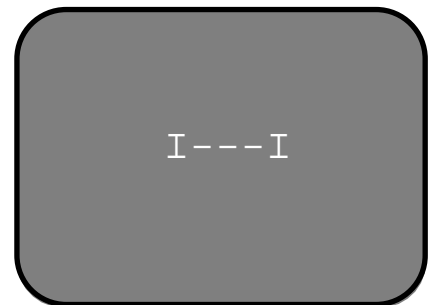


図3

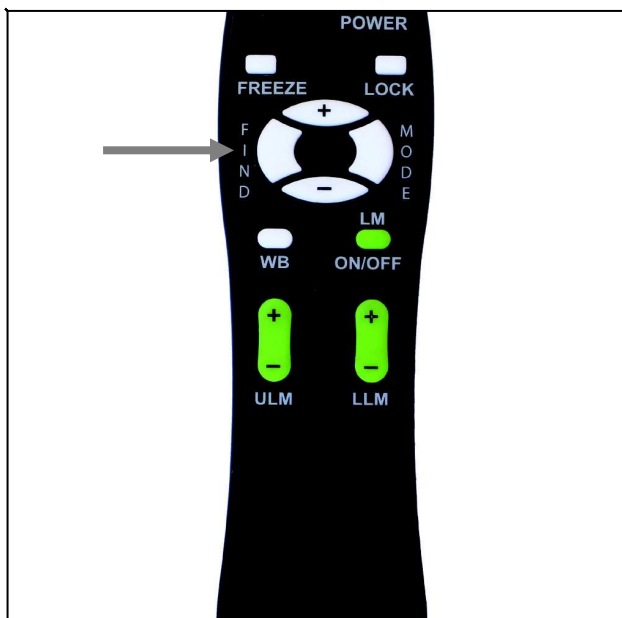


図1



図2

## 焦点固定

### リモコンで高度焦点固定を操作

アクロバットを起動すると自動的に自動焦点になるが、これは本の中の一ページや、瓶にはられた処方箋を読んだり、芸術や工芸品を作ったりする日常生活のなかでもっとも便利な設定です。

「フォーカスロック」を使うと 筆記の際など、特定の対象に焦点を同じ距離で維持することができます。アクロバットの高度焦点固定機能は拡大サイズを変えたあとも自動的に同じ対象に焦点を再び合わせてくれます。アクロバットはカメラの枠に自分の手が入っても書いているものの方に焦点を合わせ続けています。

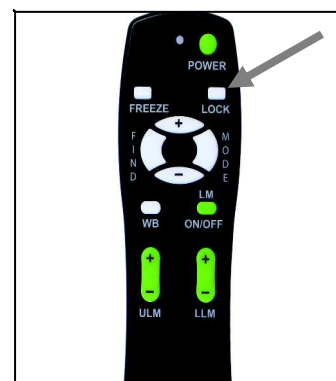


図 1

以下の手順で高度焦点固定機能をリモコン操作できます。

1. ノート、文房具、小切手帳または他の筆記用具をテーブルの上に置きます。
2. リモコンの “LOCK” ボタンを押します。(図 1 参照)
3. 画面の左上隅に “JIDO SHOTEN OFF” の文字が現れます。(図 2 参照)
4. リモコンの “LOCK” を押すとオートフォーカスにもどります。(図 1 参照)
5. 画面の左上隅には文字が現われません。(図 3 参照)

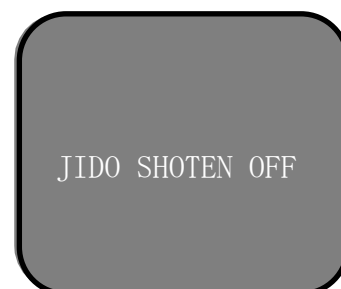


図 2



図 3

# 使い方

## カメラで高度焦点固定を作動

以下の手順で高度焦点固定機能をカメラで操作できます。

1. ノート、文房具、小切手帳または他の筆記用具をテーブルの上に置きます。
2. カメラの「Find」と「モード」の両ボタンを同時に最低一秒押して「フォーカスロック」を起動させます。(図1参照)
3. 画面の左上隅に " JIDO SHOTEN OFF " の文字が現れます。(図2参照)
4. カメラの「Find」と「モード」の両ボタンを同時に最低一秒押して「オートフォーカス」に戻します。(図1参照)
5. 画面の左上隅には文字が現われません。(図3参照)



図2

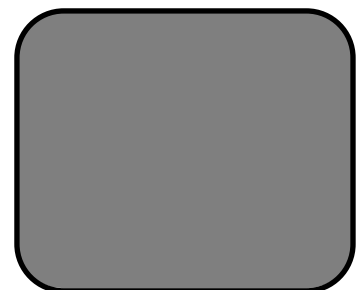


図3



## フリーズ機能を使う

画像を少し長い時間見ていたいときには「フリーズ」機能を使って、アクロバットの拡大したイメージをスナップショットにとることができます。この機能は教室でノートを取っているときなどに便利です。

以下の手順でリモコンを「フリーズ」モードを操作します。（リモコンのみ）

1. 「フリーズ」キーを最低2秒押し続けます。（図1参照）
2. 画像又はビデオは動作を停止し画面左上隅に「DOHGA TEISHI」表示が出ます。（図2参照）
3. どれかのキーを押すか視角度を変えて、「フリーズ」モードを解除します。

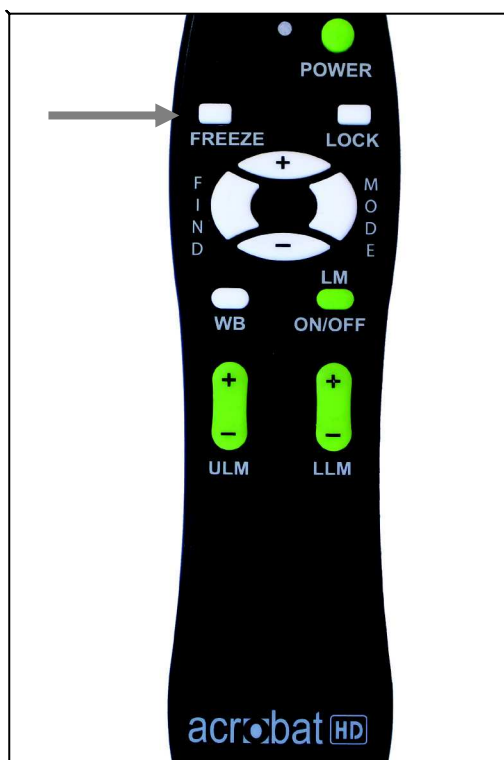


図 1



図 2

# 読書と筆記の仕方

## 読書のコツ

アクロバット、またその X-Y テーブルを使った簡単な読書は以下の手順で行えます。(X-Y テーブルは、本商品に付属していません)

1. X-Y テーブルのロックを解除し本、新聞等をページの先頭をテーブルの後ろの縁に寄せて、テーブルの上に置きます。
2. アクロバットを一番低い倍率に設置し、読み始めの位置をモニター画面のほぼ中央に来るように X-Y テーブルを動かします。
3. 一番見やすいサイズにまで拡大します。
4. ゆっくりと X-Y テーブルを左に滑らせると、単語が画面を読みやすいように流れていきます。行の終わりまで行ったらゆっくりとテーブルを行の初めまで滑らせて戻してください。テーブルをわずかに離して次の行の先頭に配置します。

## 筆記のコツ

アクロバット HD と X-Y テーブルを使っての筆記は以下の手順で行ってください。

1. X-Y テーブルをロックしてその上に書こうとしているものを置いてください。初心者は低倍率から始めて必要に応じて拡大していきます。
2. 見やすいように太書きのペン、はっきりとしたボールペンやフェルトマーカーなどを使います。罫の入った紙の方が自分の書いている位置が分かりやすいでしょう。
3. 続けて動かしながら書くのではなく、初めに一度何語か書いてみて、それから X-Y テーブルを動かしてまた書きます。色文字、白黒、または強化ポジ視覚モードで書くことができます。

## アクロバット HD で読書

- 文字が読みやすくなるまで拡大します。ただあまり大きすぎるとページ全体に目を通すのが面倒になります。ビデオ拡大システムに不慣れな人は自分の読むものを拡大しすぎる傾向にあります。
- 対象位置機能を使う際は、指を読み初めの位置に置いて読んでいるものを中心に据え指を離してすばやく自分の位置を見つけられます。

## アクロバット HD を使って筆記

- アクロバットを筆記に使うのに慣れるまでは、小さな倍率から初めそれからだんだん大きく拡大して行きます。
- 書く作業に合わせて拡大鏡を調節します。拡大倍率が小さければ小さいほど大きく書きがちで、倍率が高ければ高いほど小さく書くこととなります。
- 見やすいように太書きのペン、はっきりとしたボールペンやフェルトマーカーなどを使います。
- 罫線の入った紙またはアクロバットラインマーカーを使って自分の位置を簡単に確認できます。
- 続けて動かしながら書くのではなく、一回に何語か書いてみて、それから紙を動かしてまた書きます。
- 色文字、白黒、または強化ネガ、ポジ視覚、色選択 1, 2, 3 モードで書くことができます。

## 電源周波数の設定

拡大読書器 acrobat HD は、お住まいの地域の電源周波数（50Hz/60Hz）に設定して頂く必要があります。

- ① カメラ部分のボタン、SIZE（－）を1回押す。
- ② SIZE（＋）を4回押す。
- ③ MODE を1回押す。
- ④ SIZE（＋）を3回押す。
- ⑤ MODE を1回押す。
- ⑥ SIZE（＋）を2回押す。
- ⑦ MODE を1回押す。
- ⑧ SIZE（＋）を1回押す。
- ⑨ MODE を1回押す。
- ⑩ “Entering Setup” という画面に入るので、SIZE（＋）を押して” 3. 50-60Hz MAIN “を見つけたら、MODE を1回押す。
- ⑪ SIZE（＋）で、” AC 50HZ FORMAT” か” AC 60HZ FORMAT” を選び、MODE を1回押す。
- ⑫ “4. EXIT” でMODE を押して、元の拡大画面に戻る。

※設定があっていない場合、画面がチカチカし、見にくくなります。

日本の電源周波数は、およそ、富士川（静岡県）と糸魚川（新潟県）を境に東側は50Hz、西側が60Hzとなっています。ただし、境界付近には「50Hz」と「60Hz」の混在地区もございますので、ご注意ください。

## 製品寸法

53 cm (H) × 51 cm (W) × 20 cm (D)

## 重量

8.5Kg

## ディスプレイ

TFT Active Matrix LCD (TFT アクティブマトリックス液晶表示装置)

平均使用回数： 25,000 時間

## モニター

解像度：1920 x 1080

## 拡大範囲

1.5 倍～57.8 倍

## ビューイングモード

カラー表示/白黒表示/白黒強調表示/白黒反転表示/

その他のカラー表示が 28 (5 つ選択可能)

## 電源

100-240VAC / 0.3-0.5A      60/50Hz      27W

## 保証

2 年

# 保障について

## 保証規定

- Enhanced Vision 社の製品は、高い品質の画像、便利な機能、簡単な操作、信頼性のあるサービスを提供しております。
- Acrobat HD は、出荷前に品質検査とテストを行っております。
- ㈱日本テレソフトは、正常な状態で使用したと認められたときに故障が発生した際は購入日から2年間の保証をします。
- 故障の場合、無料修理又は交換を行うか有償修理にするかは㈱日本テレソフトが判断致します。

ただし以下のことは保証外になります。

1. 使用上の誤り、落下などの事故などによる故障
2. 不当な修理や改造による故障および損傷
3. 食べ物や飲み物などの液体をこぼしたことによる故障
4. 通常の使用により生じる Acrobat HD 本体表面など外側にできる傷
5. ㈱日本テレソフトが提供した以外の機器をつかっでの操作による故障
6. 火災、地震、水害、その他の天災地変。公害や異常電圧による故障及び損傷

**注意：**保証サービスを受けるために、購入日、保証書を必ず保管ください。



修理をご希望の方は、下記にご連絡ください。

株式会社 日本テレソフト

福祉機器事業部

〒102-0083

東京都千代田区麹町 1-8-1 半蔵門MKビル 1 階

**T E L** : 03-3264-0800

**F A X** : 03-3264-0880

**E-mail** : [ts-info@telesoft.co.jp](mailto:ts-info@telesoft.co.jp)

**URL** : <http://www.nippontelesoft.com>

購入時の梱包箱は、修理が必要になったときのために保管ください。